

## 第三十五回川柳の会「つばやきの会」

場所 西花苑コミュニティ集会室

講師 桜井亮先生指導

日時 四月五日（木）十四時～十六時

定員十五名（会員募集中）

雑詠五句投句持参のこと

投句（短冊に書く） 浄書（きれいに書く）

選句（自分の投句を外す） 披講（選んだ理由を発表）

投票で 一席・二席・三席決定

一席（三点句）

### ○医者「こと」に言う事ちがう健康法。

二席（一点句）

- 強いから笑顔のまま涙する。
- 着書を弾いてはじろう椿かな。
- 別行動これが夫婦の続くコツ。
- 金銀銅いずれを見ても粘り勝ち。
- 寒風に刃向かうように紅を引き。
- 時間にヒツタリ来たが日が違つ。
- 新年会春告げ草のバツケ食つ。
- 人生の良書を読むも老先がなし。
- 生きていろいろな垢をためながら。
- 寒風が吹いてもかすかに春匂い。

三席（一点句）



- 婆いわく巨大なオハシキカーリンが。
- 金賞の中ですけてる努力文字。
- 早き春頬打つ風の冷たさよ。
- 寒風やいくら吹いても雪溶かし。
- 弱虫は強がりよりも生きのびる。
- 世界中保護者にさせた覇者羽生。
- 肘折の丘に日本一の雪たるま。
- 山里に投句紙ある蕎麦屋かな。
- 雑祭り鄙ひた妻と雑弁当。

無点句

- 長生きをするかもしれぬ困つたぞ。
- 幸せが逃げないように固結び。
- 電気代婆さんぼやく冬五輪。
- 先生が沢山います西花苑。
- わからない仮想通貨と出来心。
- カー娘笑顔で世界をとりこにし。
- カーリング相手の心 心弾く枝。
- 慌てるな直ぐに半額のれがつ。
- スキップを練習します春が来る。
- 寒風よ吹け春匂う福寿草。
- 真実の五輪をみせたメダリスト。
- バス降りて帽子を飛ばす春一番。
- そぞ波や恋がきらめく光かな。
- 韓国の友からの文五十年。

「三月一日川柳の会での投句です。」